

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

|                                   |   |               |
|-----------------------------------|---|---------------|
| 名称：きゃんばす子安台保育園                    | 種別：保育所  |               |
| 代表者氏名：土屋 はるか                      | 定員（利用人数）： 63名                                   |               |
| 所在地：〒221-0012 横浜市神奈川区子安台2丁目1-8    |   |               |
| TEL：045-438-2507                  | ホームページ：https://www.living-platform.com/nursery/ |               |
| 【施設・事業所の概要】                       |   |               |
| 開設年月日 2018年4月1日                   |   |               |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ナーサリープラットフォーム |   |               |
| 職員数                               | 常勤職員： 16名 非常勤職員 5名                              |               |
| 専門職員                              | （専門職の名称） 名 栄養士 1名                               |               |
|                                   | 施設長 1名 調理師 2名                                   |               |
|                                   | 保育士 14名 事務員 1名                                  |               |
| 施設・設備の概要                          | （居室数）   | （設備等）         |
|                                   | 保育室6室 他4室                                       | 冷暖房 床暖房 屋上遊技場 |

③ 理念・基本方針

【保育理念】共に学び、共に遊ぶことを通して、未来の希望をはぐくむ  
【目的】基本理念の基、未来の希望たるお子様に、心身ともに健やかに育つ「養護」環境と世界に羽ばたくための「教育」環境を提供いたします。  
【保育目標】・創造的な思考・豊かな感性・感謝の心  
【運営方針】養護と教育という両面を重視し、健全な心身を養い生活の基盤になる習慣や態度を育てると共に、異年齢・年代間・異文化交流を通して、多様性を受け入れられる柔軟な思考・感性と自主性の育成を目指します。また、未来を担う子どもたちに安心して成長できる環境や質の高い教育を提供し、望むのであれば世界に通用する素地を身につけることができる場を用意したいと考えております。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

きゃんばす子安台保育園は、園庭代わりに屋上があり、活動の合間でも身体を動かしています。また夏季には年齢に合った大きさのプールで水遊びを楽しんでいます。合同保育など異年齢児との交流の中で、思いやりや憧れの気持ちも育みながら成長をしている。またそのことで担当保育士に限らず、職員全員で子どもの成長に携わっている。

教育の柱

【英語】外国人教師と一日を過ごす中で、英語に親しみやすいようにカリキュラムを組んでいます。

【珠算】専任講師により、楽しみながら数字に親しんでいます。【ITによる教育】ITによるアクティブラーニング教育を行ないます。

【道徳】対話による道徳教育で人を思いやる気持ちを育みます。【体操】専任講師により、遊びながら柔軟で丈夫な身体作りをします。

食育の一環とし、クラスで野菜を育て（種まき・苗植え、日々の水やりなど）、育てること・食べることにも興味関心ができるように取り組んでいる。毎日給食の展示や

毎月の給食だよりでも献立の掲載を行なっているが、コロナ前は、保護者向けに給食試食会を実施、一般的に苦手な食材や味付け等どのように給食で取り入れているかを実食し家庭でも参考にさせていただけるよう取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

|               |  |
|---------------|--|
| 評価実施期間        | 2022年 7月27日（契約日） ～<br>2023年 3月23日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 0回（ 年度）                                    |

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

**情報の共有化を通じて積極的な保護者支援に努めている**

園ではタブレットやパソコンを活用して、保護者及び園職員のニーズ等に応え満足度アップに努めている。園内でもITを活用することで業務効率化を図り、職員は園児と向き合う時間を増やすことが出来ている。また、保護者との情報交換では、携帯電話によるアプリでの連絡が好評である。今回の保護者アンケートにも「連絡帳アプリなどデジタルツールが導入され、毎日の連絡は親の負担にはならずとても便利」との声もある。その他、日常的な連絡や通知にもIT機器を活用し、園・保護者間の情報の共有化を通じて積極的な保護者支援に努めている。

**屋上や地域の公園を活用して戸外活動に力を入れている**

戸外活動に力を入れており、園舎内の活動の合間にも屋上で身体を動かしたり、屋上ならではの三輪車やホッピングなどの玩具で遊ぶ機会を充実させている。また、近隣の複数の公園では、それぞれの公園にあった遊びを取り入れたり、季節ならではの植物や昆虫に触れたりなど、四季の移り変わりを感じ取り、環境を活かした保育に取り組んでいる。また、散歩先の公園で地域の方が主催しているお花プロジェクトに参加したり、落ち葉拾いをしたりなど、と普段できないことを体験している。それらの交流を通じて、普段の散歩においても近隣の方へ子どもから挨拶する姿も見られるようになっている。

**子どもが集中して遊べるように環境設定に配慮している**

子どもたちが集中して遊べるように、コーナー遊びやおもちゃの選定、おもちゃなどの配置や提供のタイミングなどの環境設定に配慮している。年齢に応じた玩具や絵本を準備し、子どもが自主的・自発的に玩具を取りやすい棚の高さにしたり、コーナー分けをして一つの遊びに集中できる場所をつくったりしている。遊びの中で身体を動かすことがある場合は、使用しない机や椅子等を端に寄せたり片付けたりして安全を確保している。また、環境設定とともに年齢に合った遊びを提供することで、遊び込めるように職員間で情報を共有することに努めている。

今後期待される点

**・地域の福祉ニーズの基づく地域貢献などの早期実現が求められる**

園舎内には、設計コンセプトの段階でバリアフリーを考慮して車椅子が入れる「みんなのトイレ」を設置しており、また、地域の人との花植えを行うなど地域貢献活動への取り組み姿勢がうかがえる。立地条件や職員体制の関連で実施できていないが、電話対応での育児相談、情報提供等による子育て支援、保育実習生受入、ボランティア体験、職場体験等々を視野に入れた中・長期計画を立てる予定もある。「独居老人への声掛け」など多様な機関と連携し、地域コミュニティの活性化や街づくりなどにも貢献していく企画があり、いずれも未実施ではあるが、園では早期の実現を目指してい

る。

#### **園内研修を充実させ職員のさらなる資質の向上を目指している**

年間を通じた外部研修への参加に加え、職員会議や保育会議などの場を通じて事例検討などの機会を設け、職員の学べる機会を設けている。研修体制として各階層別、年次別に研修計画が策定されており、受講が必要な職員を派遣している。今後はコミュニケーションスキルをはじめ、保育、保健、給食の知識をさらに習得し、多様なニーズに応えられるように個々のスキルを上げていくことを目指している。さらに、実習生受け入れに向けて、担当者への研修等を行うことにも期待したい。

#### **配慮が必要な子どもへの取り組みを保護者に適切に伝えることを目指している**

配慮が必要な子どもには担当保育士職員が寄り添い、同じクラスで過ごす中で、一緒にできる活動などを通じて自然に受け入れる気持ちを育んだり、受入れることができるなどの育ち合う環境作りに取り組んでいる。また、特別支援計画を定期的に作成し、成長に応じた保育実践にむけ、環境設定の配慮や、ワーカーや保護者の方とも連携を図りながら、過ごしやすい環境でより成長できるように取り組んでいる。さらに、当該児や家族に配慮をしながら、他の保護者にも適切な情報を伝えるための取り組みを充実させることを目指している。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園5年目で初めて受審させていただき、園長、主任をはじめ保育士全員で自園の保育一つひとつを振り返り、受審日までの過程において職員の共通理解を深める良い機会であった。良いところと足りないところを改めて確認することができ、園としてまた一人ひとりの職員個人としての目標の具体化ができ、受審したことでより一層意識をもって保育にあたれている。

保護者の皆様のアンケートでの貴重なご意見もいただき、課題とともに、期待していただいていることも感じ自信にも繋がった。

改善点においてはできる限り対応し自分たちのできる所から始め、良いところはさらに伸ばしていけるよう努力していきたい。

今後も子ども達の成長を保護者の皆様と共に喜び信頼関係を築いていけるように努力していきたいと思います。

保護者の皆様のアンケートのご協力に感謝します。

ありがとうございました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり